

第 1 回川越市オーバーツーリズム対策懇談会

川越市におけるオーバーツーリズム 対策事業案について

令和 6 年 4 月 2 5 日

川越市	産業観光部	観光課
	都市計画部	交通政策課、都市計画課、都市景観課
	建設部	道路街路課

以下の順番にて説明いたします。

- 1 本市のオーバーツーリズムの現状
- 2 これまでの取り組み
- 3 今後の取り組みに関する方向性
(3つの方向性と6つのテーマ)
- 4 今後のスケジュール

1 本市のオーバーツーリズムの現状

2 これまでの取り組み

3 今後の取り組みに関する方向性 (3つの方向性と6つのテーマ)

4 今後のスケジュール

本市のオーバーツーリズムの現状



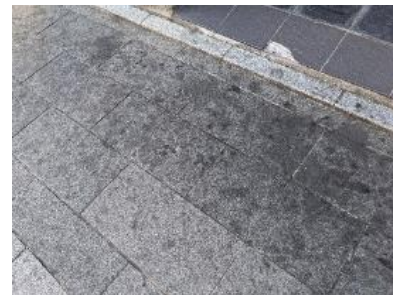
車両の渋滞



車道へのはみ出し



道路上の行列



食べこぼしによる道路汚損



歩行者と車両の錯綜



ごみのポイ捨て



道路の乱横断

- その他
- ・私有地への侵入
- ・車道にはみ出での写真撮影

本市の観光特性とオーバーツーリズムによる課題

地域
特性

首都圏内の立地特性

歴史的な街並み

歴史的な道路構造

日帰りが多い

昼間に観光時間が集中

生活交通の場と同一

道路空間が狭隘

ハード整備が困難

保全すべき建造物が多い

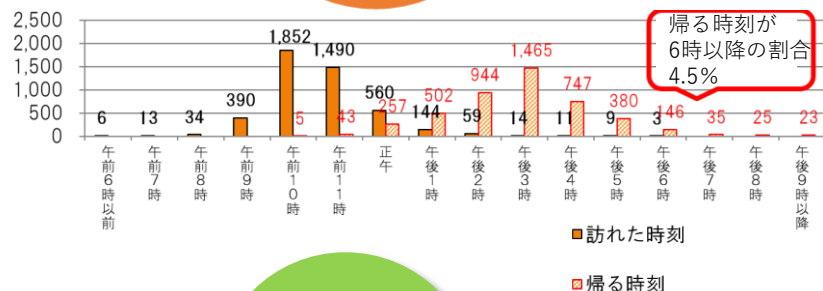
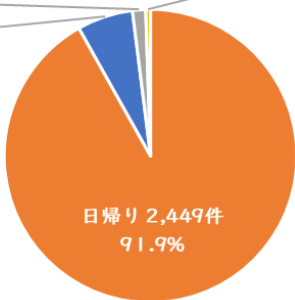
まち歩き観光

食べ歩き（歩き食べ）

R5 滞在期間（総数：2,666件）

2泊 39件 1.5%
1泊 164件 6.2%

3泊以上 14件 0.5%



地域経済への
寄与が低い

食べこぼし

住宅地等への
ゴミのポイ捨て

住民感情
の悪化

交通渋滞

歩行の安全性の低下

観光客の
満足度低下

オーバーツーリズムによる課題

- 1 本市のオーバーツーリズムの現状
- 2 これまでの取り組み**
- 3 今後の取り組みに関する方向性
(3つの方向性と6つのテーマ)
- 4 今後のスケジュール

北部市街地交通対策の経緯

交通対策の主な経緯

平成11年 一番街の都市計画変更及び伝建地区指定

- ・ 札の辻交差点から仲町交差点まで（約400m）の計画幅員を現況幅に縮小
- ・ 一番街周辺約7.8haを伝統的建造物保存地区に指定

平成19年 北部中心市街地交通円滑化方策検討委員会設置

目的：北部市街地内の交通円滑化及び安全な交通環境実現に係る改善方策の検討

構成：周辺21自治会の各代表者・学識経験者・関係機関や団体及びバス事業者・川越市

平成21年 川越・一番街周辺交通社会実験の実施

実施期間：平成21年11月7日(土)～23日(月)（17日間）

実施範囲：札の辻交差点から仲町交差点まで（約400m）

実施内容：南行き一方通行

※ただし、11月14日(土)、15日(日)、21日(土)、22日(日)、23日(月祝)の
5日間は午前10時から午後4時までを車両通行止め

北部市街地交通対策の経緯

交通対策の主な経緯

平成23年 検討委員会からの提言書提出

○提言内容

(交通規制)

一番街を終日北から南への一方通行とし、春季及び秋季における一定の日曜・祝日の日中を歩行者天国にする

(交通規制と一体とした取組)

1. 交通渋滞対策

ハード対策：北環状線整備、都市計画道路（中央通り・市内循環線）整備、交差点改良

ソフト対策：パーク&ライド、通過交通や送迎バスの迂回誘導、レンタサイクル 等

2. 安全確保

歩行者の乱横断対策、通学路の安全対策、周辺道路の交通規制検討や歩行者の安全確保 等

3. 観光対策

観光バスの路上乗降防止指導、観光客のマナー向上 等

平成23年 市が今後の方針を公表

提 言 内 容：市として尊重

一方通行等：即時実施はせず、交通量の緩和策等に取り組みながら段階的に進める

平成24年 北部市街地自治会交通対策連絡協議会を設置

目的：北部市街地内の交通問題解決のため、地域と市が連携して対策協議・実施要望等を行うこと

構成：周辺21自治会の各代表者・川越市

提言後の主な取組

ソフト対策

【H31事業完了】
北環状線新設（県）
（福田交差点～
今成交差点約4.4km）

■北環状線新設の効果
新設前に実施した交通調査（H30）に比べ、北部市街地の主要な4交差点について以下3点の効果を確認した。

- ①交通量の減少
（一番街で約9%減少）
- ②渋滞長の減少
（松江町で最大300m程度が解消）
- ③移動時間の短縮
（市役所前→松江町で最大8分程度短縮）

【H24・25実施】
送迎バス事業者への
迂回誘導依頼



【H25導入完了】
自転車シェアリング
※H31～ステーション拡大
R4年度利用回数
175,952回



【H28事業完了】
ゾーン30対策
宮下町周辺
郭町周辺
仲町周辺 等



【H28事業完了】
大型貨物自動車
迂回誘導等看板
の設置



観光マナーの周知啓発
配付物・HP・掲示物等による周知啓発、パトロール実施、バス会社への依頼等

【H22～事業中】
市内循環線（宮下町）

【H29事業完了】
郊外型駐車場
拡張（約80台）



【R6美装化完了】
立門前線

【H25～事業中】
松江町交差点 改良

【H31事業完了】
中央通り線拡幅
（本川越駅前～連雀町
約300m）

【H28事業完了】
小仙波東交差点改良
（国）

オレンジ色
は事業完了

提言書への対応

提言内容	実施済の内容	未完了の内容
交通規制	連絡協議会での交通規制案の提案・検討・アンケートの実施（H29～R元）	一方通行及び歩行者天国の実施
交差点改良	小仙波東交差点改良（H28完了：国） ※松江町交差点の一部用地取得実施	松江町交差点、市役所前交差点、 札の辻交差点、教会前交差点の改良
環状道路の整備	北環状線（福田交差点～今成交差点間）の4車線 化工事（H31完了：県）	北環状線（小室～脇田新町間）の4車線化
都市計画道路整備	中央通り線（本川越駅～連雀町交差点間）拡幅工 事（H31完了）	市内循環線（氷川神社～川越高校及び六軒町～石 原橋間）整備
北部市街地内に 流入する自動車 交通量の抑制	・公共交通機関の利用促進（随時） ・郊外型駐車場を活用したパークアンド ライド実施 ・企業及び学校の送迎バスの迂回指導 （H24・H25） ・シェアサイクルの導入・拡充（H25～） ・大型貨物自動車及び郊外型駐車場への迂 回誘導看板設置（H28完了）	・カーナビの活用による迂回対策 ・広報やHPでの混雑ルート迂回の呼びかけ ・石原町交差点への交通整理員配置
一番街周辺道路 の交通円滑化	連絡協議会での交通規制案の提案・検討・アン ケートの実施（H29～R元） （信号機の改善）	周辺道路の交通規制の見直し （信号機の改善）
安全確保	ゾーン30及びスクールゾーン等の指定（通学路及 び歩行者の安全対策、自動車の速度規制）	・歩行者の乱横断対策の実施 ・路上駐車対策の推進 ・自転車の走行方法・走行環境の改善
観光対策	（観光客のマナー向上策）	・観光バスの路上乗降に対する指導 ・人力車のあり方検討 （観光客のマナー向上策）

提言内容以外の地域からの意見・要望

項目	意見・要望内容
交通規制	・ 5つの交通規制案に対する様々な意見提出あり ・ 交通規制をする場合、代替駐車場の確保 ・ 寺町通りの一方通行の部分解除
道路整備	・ 市内循環線等の無電柱化
交差点対策	・ 松江町等、主要交差点の右折信号や時差式信号、スクランブル交差点等の導入
駐車場対策	・ 一番街周辺の駐車場を廃止等（幸町駐車場廃止） ・ 郊外型駐車場の有料化 ・ 市役所駐車場の平日の観光客の利用禁止 ・ 一番街周辺駐車場の満空表示等
観光客対策	・ 観光客の分散化 ・ 行列対策 ・ 各種マナー啓発 （ポイ捨て、歩き食べ禁止、車道へのはみ出し、路上での写真撮影、外国人対応等） ・ 右側通行の啓発（看板設置、交通誘導員配置等） ・ トイレの増設
観光バス対策	・ 観光バスの乗降場所の位置、侵入ルートを検討が必要
路線バス対策	・ 交通規制時のバスの迂回ルートを検討が必要 ・ 交通規制時の路線バスの通行量抑制が必要
その他	・ 住民第一で進めるべき ・ 協議会のあり方をもう一度整理すべき ・ 全く進んでいない、いい加減結論を出すべき ・ 庁内で一体的となって進めるべき ・ きちんとしたデータやシミュレーションに基づき検討すべき（GPSでは観光客計測は不正確）¹¹

その他のこれまでの取り組み

交通・混雑関連対策



郊外型駐車場が満車になった際に市職員駐車場等を臨時的に開放し、交通渋滞の発生を抑制



GW期間中における臨時駐車場の開放

観光エリア	混雑予想
新倉町の町並み景観区	大変混雑 (3人)
高倉渡門前	混雑 (2人)
川越城本丸跡、川越城山崎町跡	混雑 (2人)
中央公園前	やや混雑 (1人)

ビッグデータを活用した混雑予測のWEB発信
(R6小江戸川越春まつり)



鉄道事業者と連携した公共交通機関での来訪促進 (駅貼りポスター掲出)

マナー関連対策



元町休憩所の開設



鍛冶町広場の東屋設置
(歩き食べの抑制)



GW期間中に実施したエコステーション



アトレのデジタルサイネージ等でマナー啓発

- 1 本市のオーバーツーリズムの現状
- 2 これまでの取り組み
- 3 今後の取り組みに関する方向性
（3つの方向性と6つのテーマ）**
- 4 今後のスケジュール

川越市が目指す観光都市像

4の基本方針 67の施策

第二次川越市観光振興計画（改訂版）

基本方針1 新たな観光を創りだそう

基本方針2 外国人も楽しめる川越を演出しよう

基本方針3 安心して観光を楽しめる観光をつくろう

基本方針4 地域全体で観光まちづくりを進めよう

施策50 観光客の増加対応

観光客の増加に伴う交通渋滞や歩行者の車道へのはみ出し等の交通問題、食べ歩きによるゴミのポイ捨てや道路汚損等の環境問題等に係る課題解決を図るため、庁内の情報共有や対策の協議を進めるとともに、商店街等の関連団体との連携を図りながら、ゴミ箱設置や食べ歩き自粛のマナー啓発等の対策を講じ、持続可能な観光の推進と**市民の生活環境の維持・向上**の両立を図ります。

戦略的重点施策(10)

施策24 **回遊性の向上**

施策25 **早朝・夜間の観光の推進**

施策28 観光客の動態把握

施策29 **SNS等による観光情報の発信**

施策32 デジタル技術を活用した情報発信と観光案内サービスの推進

施策33 外国人観光客の受入環境の整備

施策47 **一番街周辺の交通円滑化方策の検討**

施策50 **観光客の増加対応**

施策64 観光協会、商工会議所、DMO川越、商店街等との連携強化

施策67 **広域観光の推進**

観光の効用

地域経済の活性化 社会・文化的効果

住んでよし・訪れてよしの持続可能な観光都市

本市の観光特性とオーバーツーリズムによる課題

地域
特性

首都圏内の立地特性

歴史的な街並み

歴史的な道路構造

日帰りが多い

昼間に観光時間が集中

生活交通の場と同一

道路空間が狭隘

ハード整備が困難

保全すべき建造物が多い

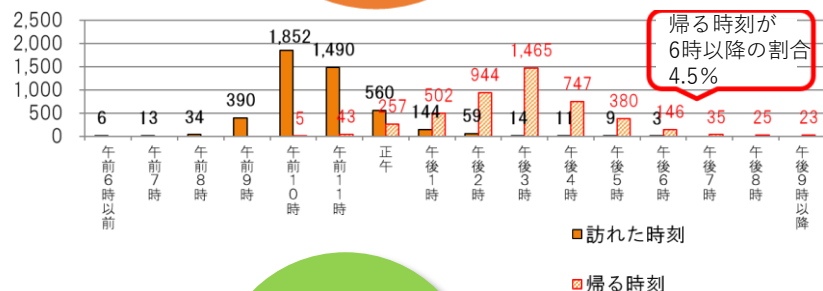
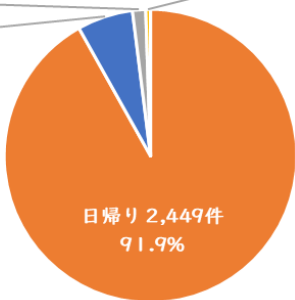
まち歩き観光

食べ歩き（歩き食べ）

R5 滞在期間（総数：2,666件）

2泊 39件 1.5%
1泊 164件 6.2%

3泊以上 14件 0.5%



地域経済への
寄与が低い

食べこぼし

住宅地等への
ゴミのポイ捨て

住民感情
の悪化

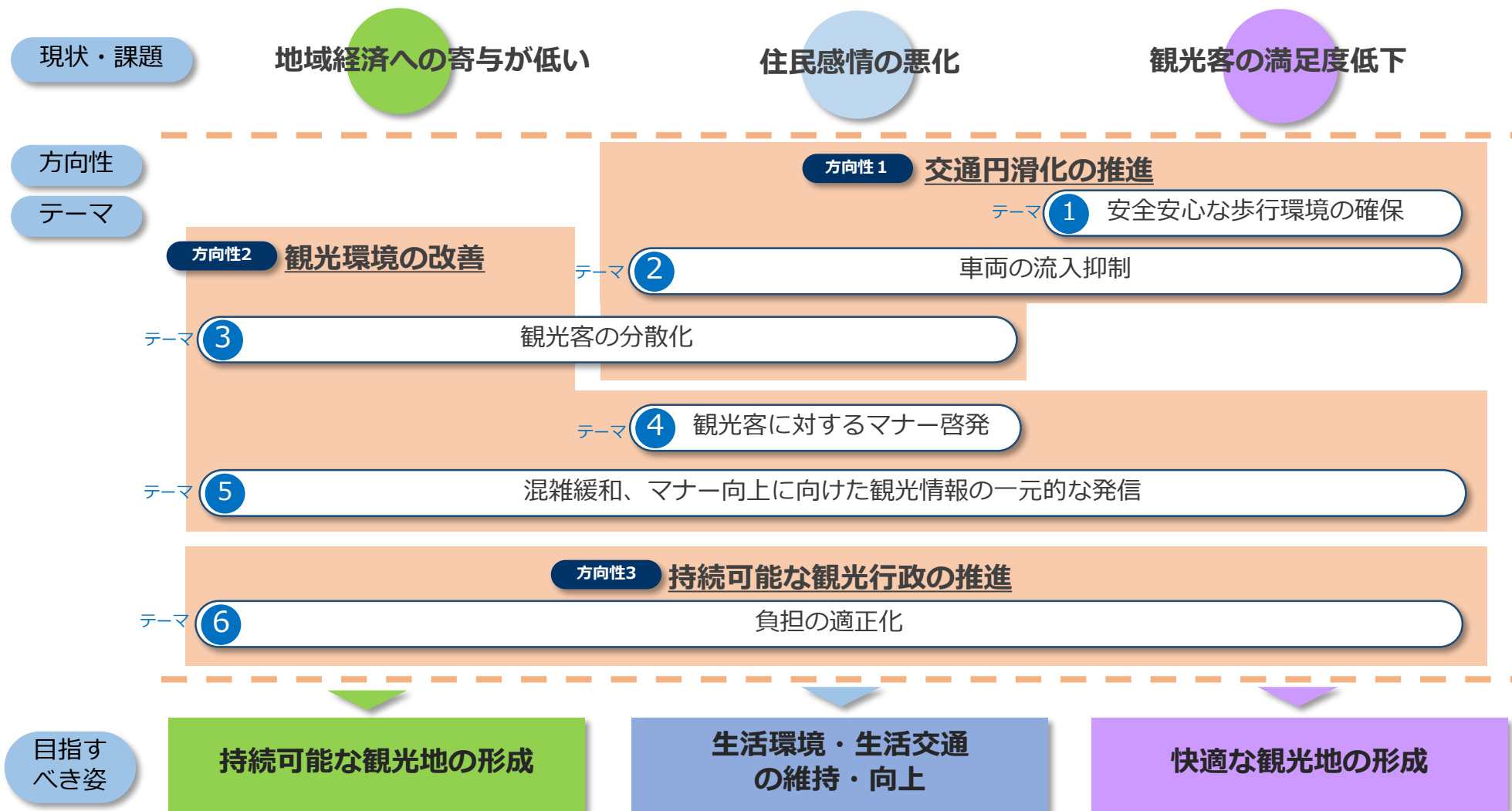
交通渋滞

歩行の安全性の低下

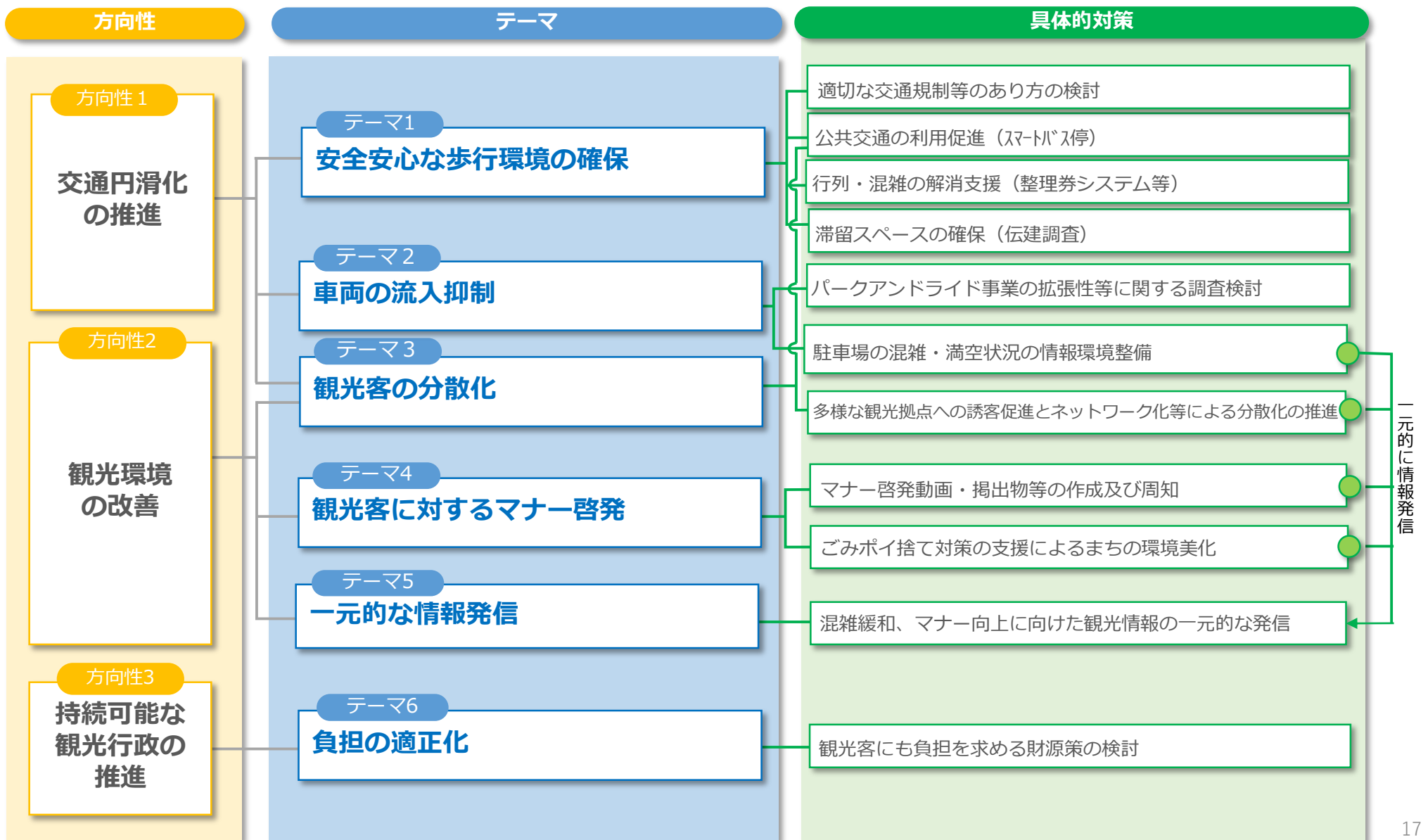
観光客の
満足度低下

オーバーツーリズムによる課題

本市の観光の現状、方向性・テーマ、目指すべき姿



事業の方向性、テーマ、具体的対策の案



◎現状と目指すべき方向性

現 状

- ・本市最大の観光拠点である一番街は生活道路であり、幹線道路でもある。
- ・周辺エリアは、歴史的な道路構造、建築物が多く、更なる道路拡幅・交差点改良等は長期化が予想される。

目指すべき姿

- ・北部市街地周辺の生活交通及び生活環境を保全しつつ、「安全安心」な歩行環境を創出する。

◎具体的な対策案

適切な交通規制等のあり方検討	北部市街地における適切な交通規制等のあり方について、交通量調査結果をもとに交通シミュレーションを実施し、検討を行う。
公共交通の利用促進	リアルタイムでの運行情報や観光拠点情報等を発信するスマートバス停を設置し、公共交通の利用促進・回遊性の向上を図る。
行列・混雑の解消支援	飲食待ちの行列が頻繁に生じる飲食店舗に対し、整理券システム等の導入支援により、行列及び道路空間の混雑解消を図る。
滞留スペースの確保	伝建地区内の空地の活用による滞留スペースの確保とそれによる道路空間の混雑解消を図る。

【方向性1】交通円滑化の推進

【テーマ2】車両の流入抑制

◎現状と目指すべき方向性

現 状

- ・地域住民から、交通規制導入による周辺道路への影響に対して懸念が示されている。
- ・各種取組により、自動車交通量は一定程度緩和したが、大型連休時には駐車場が満車となり、駐車場を探すうろつき渋滞が発生するなど、更なる流入抑制・交通渋滞対策が必要。

目指すべき姿

- ・交通規制等のあり方検討と並行して、北部市街地への車両の流入抑制による交通渋滞の緩和を図る。

◎具体的な対策案

パークアンドライド事業の拡充等	民間所有も含めた既存の駐車場やバス路線を活用したパークアンドライド事業の検討を行い、収容力の拡充を図る。併せて、幸町駐車場等、北部市街地における観光用駐車場のあり方について検討する。
駐車場の混雑・満空状況の情報環境整備	郊外型駐車場の混雑状況を把握するための設備を設置し、市庁舎駐車場とともに混雑情報を提供する。併せて、主要観光スポットの混雑予測情報等を発信することにより、うろつき車両の削減やマイカーでの来街抑制等を図る。

※上記の他、道路整備等のハード対策についても、関係機関と連携して取り組んでいく。

◎現状と目指すべき方向性

現 状

- 一部の地域と特定の時間帯（日中の一番街）に観光客が集中しており
- ・ **車両と歩行者の錯綜、歩行空間の混雑**が発生
 - ・ 様々な観光エリアがあるにもかかわらず観光客があまり回遊していない
 - ・ **低い観光消費額**にとどまっている

目指すべき姿

- ・ 観光客の回遊性の向上
- ・ 滞在時間の延伸
- ・ 観光消費額の増加

令和5年GPSデータのエリア別来訪人数

エリア	合計
一番街周辺	2,832,567
喜多院周辺	255,864
川越氷川神社周辺	317,265
伊佐沼周辺	342,756

10倍以上の差

◎具体的な対策案

多様な観光拠点への誘客促進とネットワーク化等による分散化の推進

無電柱化の検討	歩行空間を確保し、観光客の分散化を図るための無電柱化に関する調査等を実施する。
多様な観光拠点への誘客促進及び宿泊の促進	地域関係者（観光施設、商店街等）と協議のうえ、誘客促進策を実施する。併せて、宿泊促進等の事業を実施する。

【その他関連事業】

グリーンツーリズム拠点施設の整備

郊外エリアへの誘客促進による観光客の分散化、滞在時間の延伸を図るためのキャンプ場整備（土地造成、区画道路等整備）を行う。

◎現状と目指すべき方向性

現 状

- ・観光客の歩き食べによるごみのポイ捨てや食べこぼしによる道路汚損等の環境問題が発生している。
- ・その他、私有地への侵入や道路の乱横断等もあり、観光客に対する住民感情が悪化している。
- ・ごみ対策について、**統一的な整理がなされていない**。
- ・**住宅地等でのポイ捨てが課題**であり、改善に向けた対策や実施主体について協議が必要である。

目指すべき姿

まちの環境美化を図り、持続可能な観光の推進と**市民の生活環境の維持・向上**が両立したまち

◎具体的な対策案

マナー啓発動画等の作成等	旅前においては観光バス事業者、旅中においては観光案内所や休憩所、商店街において効果的にマナー啓発ができるよう、各取組主体において活用可能な動画や掲出物を作成する。
ポイ捨て対策の支援	商店街等と協議を図りながら、ごみのポイ捨て抑制を図る。

【方向性3】持続可能な観光行政の推進

【テーマ5】一元的な情報発信

◎現状と目指すべき方向性

現 状

- ・発信する情報が観光スポットやグルメの内容にとどまっている
- ・交通やマナーに関する統一的な情報発信が不足



目指すべき姿

- ・効果的で活動しやすい、一元的な情報提供による、観光客の交通手段、来訪時間等の行動変容の促進

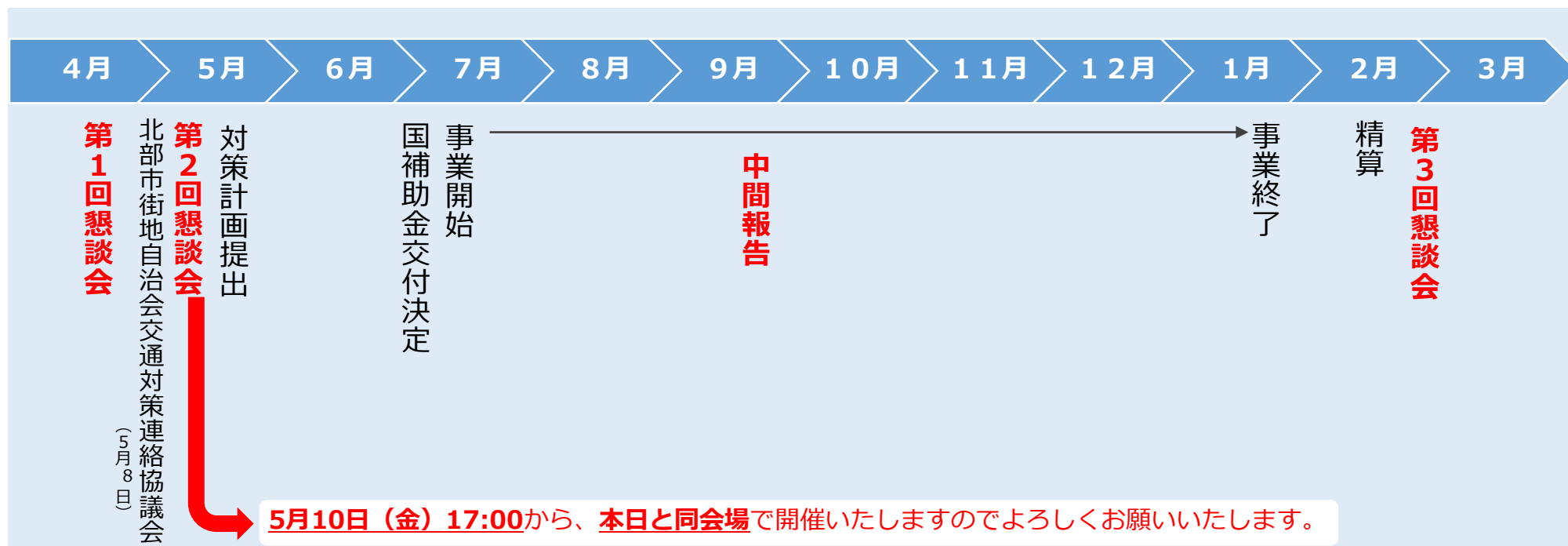
◎具体的な対策案

混雑緩和、マナー向上に向けた観光情報の一元的な発信

交通関連情報、混雑予測、マナー向上等に係る観光情報について、WEB・SNS等で一元的に情報発信を行う。

- 1 本市のオーバーツーリズムの現状
- 2 これまでの取り組み
- 3 今後の取り組みに関する方向性
(3つの方向性と6つのテーマ)
- 4 今後のスケジュール**

令和6年度のスケジュール



懇談会の議題

第1回懇談会

国補助事業の概要及び川越市におけるオーバーツーリズム対策事業の全体の方角性の説明

第2回懇談会

対策計画の説明（個別の実施予定事業の説明）

第3回懇談会

中間報告

第4回懇談会

実施事業の結果報告及び令和7年度以降の対策予定